

木本議員 皆様、おはようございます。お願いします。5番木本です。通告どおり2点質問させていただきます。4月25日、徳島新聞に掲載されました県内16市町村消滅可能性があり、牟岐町における若者女性の人口が近年減少していることは地域の活力や未来を考える上で重要な課題です。牟岐町は現在、人口3,496人の内、20歳から30歳の女性は80人で、全体の人口からは、わずか2.29%です。都道府県別での「消滅」割合を見ますと、徳島県は67%、沖縄は0%となっています。最近、私が学習のため沖縄に行き感じたことですが、多くの修学旅行生が訪れ、国際通りには働く場が豊富で、物価が比較的安く感じました。これにより観光地としての魅力だけでなく、生活のしやすさが若年層の定住に寄与しているところです。そこで質問に移ります。1. 現在の若年女性人口の推移と減少の要因は。そして他の市町村と比較した際の牟岐町の特徴や特有の課題は何でしょうか。2. 牟岐町として、現在実施している若年女性人口減少対策と今後の計画や新たな取り組みについてお聞かせください。3. 若年女性の定住促進策のために実施した具体的な施策と、その効果をどのように評価しているか。また、これまでの取り組みで成功や失敗事例について教えてください。4. 若年女性の意見やニーズをどのように収集し、それを町づくりに反映しているか。若年女性が住み続けたいと思える町づくりのための取り組みは具体的にどのようなものか。ご所見をお伺いします。続きまして、2点目、観光資源の開発と活用についてお伺いします。「私は最近、学習のためにエネスコジオパーク隠岐島、ユネスコジオパーク室戸にも行ってまいりました。その目的は、他地域の成功事例などを学び、牟岐町の観光振興に役立てようと思ったからです。その一つに、隠岐島ではユネスコジオパークとしての認定を受け、自然と歴史を活かした観光資源の開発が進んでいます。観光客が増加し、地域経済が活性化している事例を学びました。また、ユネスコジオパーク室戸では、具体的な取り組みとして「地質的な価値を観光資源として活用し、ジオツアーや教育プログラムが充実しています。これにより観光客が地域の歴史や自然を深く理解し、持続可能な観光が実現されているようです。このように地域経済の活性化としまして、「観光客の増加により、地域の飲食店や宿泊施設への経済効果が期待され、また、地元商店との連携強化も重要となってまいります。そこでお伺いします。牟岐町の観光資源を活かした観光振興策の現状と今後の計画について確認するとともに、特に新たな観光資源の開発や地域経済の活性化に向けた具体的な取り組みをお聞かせください。よろしくお願いします。

喜田議長 榊富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 皆さん、おはようございます。木本議員の牟岐町における若年女性人口減少について、のご質問にお答えします。現在の若年女性人口の推移と減少の要因は。そして他の市町村と比較した際の牟岐町の特徴や特有の課題は。ですが、推移としましては、若年女性を20から30歳としますと、国勢調査の結果で言いますと、1980年(362人)、2010年(99人)、2020年(66人)と、この40年で約8割減少しています。要因としましては、若年女性以外も含まれますが、平成27年に行った牟岐町の将来のまちづくりに関するアンケート調査結果によれば、他の市町村に移りたい理由は、災害の危険が多いから(21%)、働く場所が不足しているから(16.4%)、医療や福祉サービスなど高齢者に暮らしやすい環境が十分でない(13.7%)となっています。まちづくりに対する評価についての項目では、市街中心部のにぎわいや活気(やや不満、不満83.7%)、就業の場の充実度(やや不満、不満77.7%)となっています。令和2年度に行ったまちづくり住民アンケート調査結果によれば、住みにくい理由は、買い物などが不便(64.5%)、道路や交通が不便(41%)、安定した職場が少ない(39.3%)となっています。住み続けたくない理由の項目については、他の町が住み良いと思う(71.2%)、仕事のため(16.9%)となっています。また、牟岐町はどのようなところが問題かという項目では、職場が不十分(62.3%)、産業の活力が不十分(50.6%)となっています。そうしたことから、若年女性において町のにぎわいや働く職場、買い物や交通の不便が要因と考えられます。近隣の市町村の詳細な状況は分かりませんが、町内におけるにぎわいや、通勤圏内も含めた南部圏域内における働く職場不足が課題と考えられます。次に、牟岐町として現在実施している若年女性人口減少対策と、今後の計画や新たな取り組みは。ですが、現在実施している定住対策としては、男女関係なく、空き家改修等支援事業、おひさまスクール、創業促進補助金、出生祝い金、こどもはぐくみ医療費助成事業、児童手当、産前産後サポート事業・産後ケア事業、牟岐町出産・子育て応援給付金、子育て支援センター(あそびの広場)があります。新たな取組は、第3期牟岐町総合戦略策定に向けて、検討したいと思います。若年女性の定住促進策のために実施した具体的な施策とその効果をどのように評価しているか。また、これまでの取り組みで成功や失敗した事例について問う。

ですが、現在実施していない事業もありますが、ローカルハイスクール、県南地域づくりキャンパス事業、第二のふるさと創出事業など、キャリア教育や地域課題に向けた大学連携事業は効果が高いと思います。このような取り組みに関わった大学生の中には、現在、牟岐町内へ移住し、牟岐町役場や地域おこし協力隊として勤務し、また、町内でNPO法人や一般社団法人を設立しています。また、町外で暮らしながら定期的に町内で事業を展開するなど少ない人数ではありますが、地域活性化を担っていただいています。若年女性の意見やニーズをどのように収集し、それを町づくりに反映しているか。若年女性が住み続けたいと思える町づくりのための取り組みは具体的にどのようなものか。ですが、第3期牟岐町総合戦略策定に向けて、夏ごろ、中学生から20代社会人を対象にしたワークショップを開催する予定です。また、抽出による町民アンケートを実施する予定です。その結果を踏まえて、女性に限らず、若者世代の考えを総合戦略に反映させたいと思います。次に、「観光資源の開発と活用について」のご質問にお答えします。牟岐町においては、観光施設が充実していないため、施設を訪れる観光客は少なくそれを増やしていくためには、ハード面・ソフト面の整備を含めた費用と年数が必要となります。そのうえで、牟岐町の特性として、山・川・海・島などの魅力ある資源を活用した体験型観光に取り組んでいます。牟岐町においては、島民経営の民宿・民泊があり、民間団体の協力により波止の家、島の家などを活用した出羽島ガイドウォーク、寒天づくり体験、島そうめんなど出羽島ならではの魅力を感じていただけるように努めてまいります。南阿波よくばり体験が実施している教育旅行の積極的な誘致と自然環境や農林水産業などを活かした体験型観光メニューの充実を図ってまいります。千年サンゴを含む周辺の海中景色をVR映像化することにより、牟岐町の魅力PRコンテンツとするとともに、シュノーケリングやスキューバダイビングなどのマリンアクティビティと連携した観光誘致を目的とするための観光VRコンテンツ(海中映像)制作業務を発注予定です。制作した映像は、モラスコむぎなどにおいて、常時、VR体験ができるとともに牟岐町公式SNS、各種イベントでの放映等を行い、観光PRに活用する予定です。

「千年サンゴ」の活用については、今後、事業者・漁協等各関係者と協議・連携しながら検討してまいります。また、磯釣りの有名スポットである牟岐大島をはじめとする津島などの自然の恵みを最大限活用した釣りの観光資源化を徳島県に設置された「釣〜リズム」推進プロジェクトチームと連携しながら取り組んでまいります。以上です。よろ

しくお願いします。

喜田議長 木本議員。

木本議員 町長、ご答弁いただきありがとうございました。私も独自で見学や学習で得た知見を活かし、牟岐町でも同様の取り組みを進めることが大変重要だと考えます。「牟岐町の地質学的価値を活かしたジオパークや、地域の特産品を活用した体験型観光プログラムを提案するとともに」今後もジオパーク認定を目指し、観光資源の開発やプロモーション活動にも積極的に取り組んで参りたいと思っていますので、引き続きよろしくお願いを申し上げて私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。